

# 頸北等商工会景況調査報告書

組織番号

商工会名

報告者名

頸北等商工会

加藤利弥

## 1. 調査要領

### (1) 調査対象

- ア 対象地区 頸北等商工会地区内小規模事業者  
イ 調査企業数 93 事業所 (うち小規模事業者数 87 事業所)  
ウ 回答企業数 93 事業所 (うち小規模事業者数 87 事業所)  
(回答率 100.0%)

### (2) 調査対象期間

- 令和3年4月～令和3年9月  
(調査時点 令和3年9月30日)

### (3) 調査方法

- 経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

### (4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	12	12.9%	12	12.9%
建設業	32	34.4%	32	34.4%
卸・小売業	24	25.8%	24	25.8%
サービス業	25	26.9%	25	26.9%
合計	93	100.0%	93	100.0%

商工会別	企業数
柿崎商工会	20
大潟商工会	27
吉川商工会	15
名立商工会	15
頸城商工会	16

## 2. 地域内産業全体の景況概要

新型コロナウイルス感染症の影響による需要の停滞から、全業種で景況の悪化が続いている。特に卸・小売業、サービス業においては、売上減少、採算悪化の傾向が顕著である。

また、新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、今後も悪化が継続していく懸念がある。

### 【後継者の状況】

後継者ありの事業所の中には、すでに後継者候補が主となり事業を行っている所もある。後継者なしの事業所は、自分の代で廃業を検討している所も多い。

後継者 あり	33事業所	35.5%
後継者 なし	60事業所	64.5%

### 【売上高】

新型コロナウイルス感染症の影響があった昨年と比較し、製造業を中心に売上が増加した事業所も一定数あるが、不変・減少の割合が大きく、コロナの影響が続いている事が見て取れる。今後についても厳しい見通しの事業所が多い。

#### 前年同期比

増加	不変	減少
21	28	44

#### 前期比

増加	不変	減少
19	29	45

#### 今後の見通し

増加	不変	減少
11	41	39

### 【採算】

売上以上に不変・減少と回答した事業所割合が大きい。今後についても多くの事業所が厳しい見立てをしている。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
13	41	39

#### 前期比

好転	不変	悪化
12	37	44

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
5	48	39

### 【仕入単価】

製造業、建設業、飲食関連業種を中心に仕入単価の上昇が続いている。原油価格の上昇や海外ロックダウンの影響もあり、今後の仕入れ価格の上昇も懸念している事業所が多い。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
39	45	7

#### 前期比

上昇	不変	低下
41	43	7

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
42	42	7

### 【販売（客）単価】

卸・小売、サービス業を中心に、客単価の減少がみられる。住宅建築では仕入単価上昇の分を大きさを変える等の対応により吸収し、結果的に客単価はあまり変わっていないという状況も見られる。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
10	58	25

#### 前期比

上昇	不変	低下
9	60	24

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
12	60	21

### 【資金繰り】

不変・悪化と回答した事業所が多数を占めた。売上減少・採算悪化の影響が大きいものと思われる。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
8	57	28	10	52	31	3	59	31

### 【雇用動向】

大きな変動は無いが、調査対象が小規模事業者中心だったためと思われる。製造業・建設業では人材不足（特に熟練技術者）が続いている。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
5	77	10	6	73	13	3	80	9

### 【景況判断】

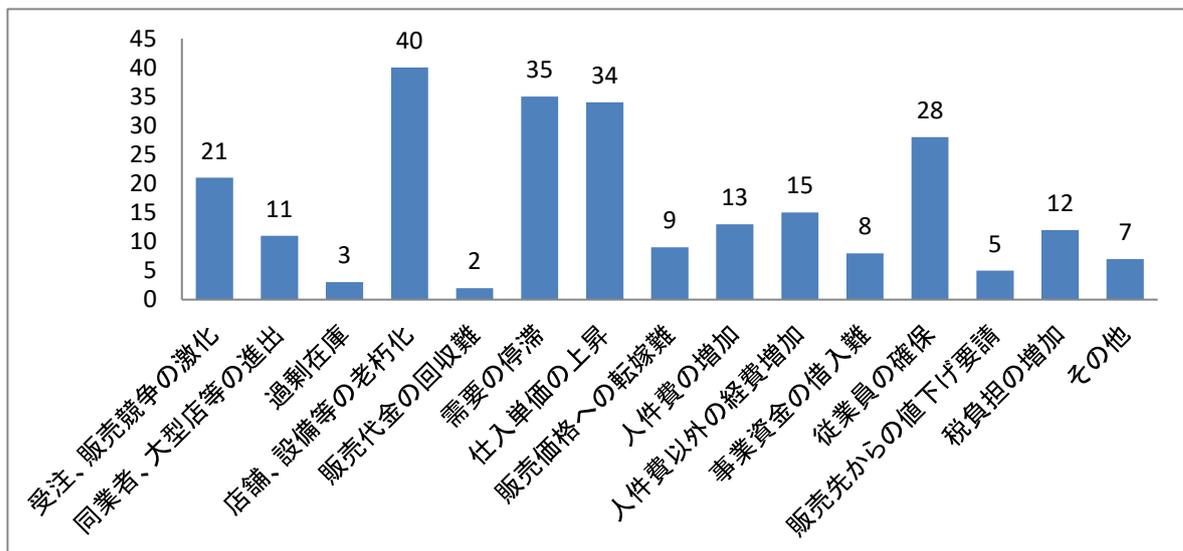
新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、製造業を除き不変・悪化の割合が大きい。今後についても新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、不変・悪化が継続していく懸念がある。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
14	38	41	12	40	41	7	43	43

### 【経営上の問題点】

「店舗、設備等の老朽化」と回答した事業所が最も多いが、新型コロナウイルス感染症の影響により「需要の停滞」や「仕入単価の上昇」があり、設備投資に着手できていないものと思われる。

また、製造業・建設業では「従業員の確保」をあげる事業所が多かった。



### 3. 産業別景況概要

#### (1) 製造業

仕入単価上昇の影響を受けているものの、売上高や採算では比較的好調の事業所が多い。食品製造業においては、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け停滞感が強い事業所もあるが、ネット販売等により巣ごもり需要に対応し売上を伸ばしている事業所もある。

また、設備が老朽化しているが、更新に着手できていないのが現状である。

#### (2) 建設業

公共工事の減少により、利益率の低い民間工事の割合が増えてきている。住宅建築業では、木材等の仕入単価上昇により一部事業所で工事の見合わせや変更が発生しているが、受注自体は回復している事業所もある。

住宅設備業では、海外ロックダウンの影響でエアコンやトイレ等の納品が遅れており、工事の延期により売上が減少しているケースも見受けられる。

#### (3) 卸・小売業

新型コロナウイルス感染症の影響による停滞感の他、地域内の過疎化進行による人口減少もあり、厳しい状況が続いている。

また「後継者なし」と回答した事業所の割合が75.0%と大きく、廃業増加による地域経済の衰退も懸念される。

#### (4) サービス業

飲食業を中心として、新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響は大きく、業績は著しく停滞している。個人客は徐々に回復の兆しが見えているものの、大人数の宴会等はコロナ禍前の水準には程遠い状況であり、今後も厳しい見通しとなっている。

また卸・小売業同様「後継者なし」と回答した事業所の割合が76.0%と大きく、廃業増加による地域経済の衰退も懸念される。

(様式⑤)

No.	
-----	--

### 景況調査ヒアリングシート（令和3年度）

調査対象期間 令和 年 月～ 月  
(調査時点 令和 年 月 日)

商 工 会 名	商 工 会	担当職員名	
企 業 の 概 要	業 種	1：製造 2：建設 3：卸・小売業 4：サービス他	
	従業員数	1：0人 2：1人～2人 3：3人～5人 4：6人～20人 5：20人超	
	企業区分	1：小規模事業者 2：小規模事業者以外	
	後継者の有無	1：有 2：無	

(1) 貴社の状況についてお答えください。(該当する番号に○を付してください。)

	前年同期(R●年●月～●月)と比較して	前期(R●年●月～●月)と比較して	今期(R●年～月)と比較した来期(R●年●～●月)の見通し
売 上	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
採算(経常利益)	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
仕 入 単 価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
販 売 (客) 単 価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
資 金 繰 り	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
雇 用 動 向	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
景 況 判 断	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化

(2) 貴社の経営上の問題点(下記より上位3つまでを選び、○を付してください。)

- ①受注、販売競争の激化
- ②同業者、大型店等の進出
- ③過剰在庫
- ④店舗、設備等の老朽化
- ⑤販売代金の回収難
- ⑥需要の停滞
- ⑦仕入単価の上昇
- ⑧販売価格への転嫁難
- ⑨人件費の増加
- ⑩人件費以外の経費増加
- ⑪事業資金の借入難
- ⑫従業員の確保
- ⑬販売先からの値下げ要請
- ⑭税負担の増加
- ⑮その他 ( )

(3) 今後の事業・経営において強化したい点(設備投資・販路開拓等)

--